

「所為」と「おかげさま」

校長 黒川 弘 教

「所為」と「おかげさま」

「所為」・・・この漢字は「せい」と読みます。「人のせいにする」の「せい」ですね。子どもだけでなく大人もですが、人間は結構わがままで、自分に原因があっても、自分の悪かったことを棚に上げて、ついこの「所為」を使ってしまっている人も多いのではないのでしょうか。たとえば、遅刻をした時、「親が起こしてくれなかったから」「目覚ましをセットしたのに鳴らなかったから」と、自分のことは棚に上げて、「親のせい」「目覚まし時計のせい」にしてしまったような経験はありませんか？なぜ人は「人のせい」にしてしまうのでしょうか？私自身も反省することがよくありますが、人のせいにしてしまった方が気が楽だという自分への甘えがそうさせているのかもしれません。しかし、いつでも自分のことは棚に上げて、他人のせいにはばかりしていると、あの人は本当にわがままで、信用できないと思われるようになってしまいます。いつも「人のせい」にはばかりしないで、自分のあやまちは素直に認め、「自分に厳しく、他人にやさしい人」になってほしいと思います。

先日、ある本を読んでいたら「おかげさま」という詩を目にしました。その詩の一部を紹介します。みなさんが何かを感じ取ってくれば幸いです。

「おかげさま」

夏が来ると「冬がいい」という 冬が来ると「夏がいい」という
 太ると「瘦(や)せたい」といい 痩せると「太りたい」という
 忙しいと「暇(ひま)になりたい」といい
 暇になると「忙しい方がいい」という
 衣食住は昔に比べりゃ天国だが 上を見ては不平不満の明け暮れ
 隣を見ては愚痴(ぐち)ばかり
 どうして自分を見つめないのか 静かに考えてみるがよい
 一体自分とは何なのか 友達のおかげ 親のおかげ
 世間様のおかげの固まりが自分ではないか
 つまらぬわがまを捨てて 自分勝手を慎(つつし)んだら
 世の中はきっと明るくなるだろう
 「俺が、俺が」を捨てて
 「おかげさま、おかげさま」で暮らしたい

一生の思い出！修学旅行！



6年生は、5月24日(水)から1泊2日で修学旅行に行きました。初日はやや天候が悪かったものの徐々に回復、2日目には快晴の中、様々な活動ができました。広島では、原爆資料館でタブレットを操作して進んで学ぶ姿が見られました。また、スペースワールドでは全員が絶叫マシン「ザターン」に乗り、恐怖を共通体験するなど、浅海っ子は全員元気に活動できました。近隣小学校4校の友達とも交流を深め、新しい友達を作ることができました。一生の思い出となった修学旅行でした。

5月25日(木)、1～5年生は、雨天で1日延期になった遠足に行きました。まずは周遊船で鹿島周辺の海を一回り。連縄が張られた夫婦岩やほこらなどを見て、普段はあまり見ることのない地元北条の魅力ある景色に感動していました。鹿島では展望台に登ったり遊具で遊んだりして楽しみました。昼食はみんなでお弁当タイム。学年の枠を超えたふれあいを満喫した1日となりました。

楽しかった！北条鹿島遠足！



①ホームページを公開しています！ぜひご覧ください！

学校の様子や様々な情報を発信しています。「[浅海小学校 学校公式サイト](#)」で検索してください。

②アルミ缶の回収を行っています！ご協力をお願いします！

毎週木曜日に、環境福祉委員がアルミ缶回収を行っています。ご家庭からはもとより、地域の方からの持ち込みも構いません。回収した缶は業者に引き取っていただき、子どもたちの学習活動に活用されます。